

みなさんは、「発掘」という言葉をきいて何を連想しますか？ 恐竜の化石ですか？ 世界最古の人類の骨？ まだ見つかっていませんが「卑弥呼の金印大発見！」「徳川家の埋蔵金発見！」等でしょうか？ 発掘調査でわかったことが、新聞やテレビなどで報道される度に、その大発見にどきどきわくわく心がおどります。「ひょっとしたら、ぼくやわたしもきせきの大発見ができるかも……」というような夢もわいてきますよね。

ここ妻木晩田遺跡もきせきの大発見でした。調査をしていくと日本国内最大級の広さをほこる、弥生時代のムラの跡であることがわかったのです。そしてそこからは、その当時の人々の暮らしを想像できるたくさんの建物跡や生活に使っていた道具等が発見されました。では、今回は、そんな発掘調査を体験してみることにしましょう。



クイズ

妻木晩田遺跡から発掘された遺物(生活に使われていた道具)は、次のうちどれでしょう？(5つあります。)

- ①土器 ②石器 ③鉄器 ④銅鏡 ⑤勾玉 ⑥木器 ⑦骨角器 ⇒ ()

では、「発掘体験ひろば」で、発掘調査の進め方を見学してから、発掘調査体験をしてみましょう。
(見学用の説明資料はこのカードの裏にあります。)

チャレンジしよう

「発掘調査」に挑戦しよう！

【道具】スコップ(手スコ)、両刃鎌(ガリ)、手箕、手鋏



①スコップを使って、表面の土をはぎとるように少しずつ、掘り進めます。



②同じ場所を深く掘らずに周りの人と同じ深さだけしんちように掘ります。



③掘った土は手スコで、てみに移します。



⑤妻木晩田遺跡から見つかった遺物には、土器、石器、鉄器、銅鏡、勾玉があります。みなさんは何を発見できるでしょうか？

発見したものをここに記入してください。

注意

刃物を使います。ケガがないように十分気をつけましょう。また、土器や石器を見つけたら、自分で取り上げてしまわないで、必ずみんなに知らせましょう。

豆知識 1

ほんとう はくつちよう さ 本当の発掘調査ってどうやるの？

みなさんは、なぜ遺跡を発掘しなければならないか知っていますか？ 実際に目にする事ができない、昔の生活の様子を知るために、地下にねむっている遺跡から情報を得るために発掘を行うのです。

では、発掘調査はどのような手順で行われるのでしょうか？



① 試し掘りをして遺構（建物のあと等）のありそうな場所を探します。



② 遺構がある地層までを機械を使って少しずつ掘ります。



③ 人の手で、しんちょうに遺構を探します。



④ 土の色などのちがいで「竪穴住居」のあとが見つかりました。



⑤ 竪穴住居のあとにうまっている土を少しずつのぞきながら掘り進めます。



⑥ 掘り進めて行くとたくさんの遺物が見つかることがあります。



⑦ 完全に掘り終ると、写真や図面などの記録を残し、雨や風でくずれないようにうめもどします。

豆知識 2

なぜ、完全に掘りぬいてしまわないで、かべのようなものが残されているの？



- ← 古代～近現代
- ← 弥生時代終末ころ（1700年前）
- ← 弥生時代後期ころ（1800年前）
- ← 縄文時代ころ（2500年前）

左の写真のかべの表面の土の色をよく観察してみましょう。色や種類がちがう土が層をなしていることがわかりますね。上の方には、今のわたしたちの時代に近いうまった土があります。下の層になるほど時代が古くなっていきます。発掘調査は、この土の層をていねいに一枚一枚はぎ取るように行われます。そうすることで、見つかった土器などの詳しい情報を記録し、いつの時代のものがわかるのです。

※みなさんは、どんな遺物を発見することができましたか？ 今日の「発掘調査」体験で発見したことやわかったこと等、感想をまとめてみましょう。
